

令和8年度

シ ラ バ ス

SYLLABUS

作業療法学科2年生



健祥会学園  
KENSHOKAI GAKUEN

## 目 次

### カリキュラム

#### 専門基礎分野(理学・作業療法学科)

運動学Ⅱ .....	16
一般臨床医学Ⅰ .....	17
一般臨床医学Ⅱ .....	18
内科学Ⅰ .....	20
内科学Ⅱ .....	21
神経内科学.....	22
脳神経外科学.....	23
精神医学Ⅰ .....	24
精神医学Ⅱ .....	25
整形外科学Ⅰ .....	26
整形外科学Ⅱ .....	28
小児科学 .....	30

#### 専門分野(作業療法学科)

作業療法評価学Ⅲ.....	16
作業療法評価学Ⅳ.....	17
作業療法評価学演習Ⅱ .....	18
基礎作業療法治療学.....	20
身体障害作業療法学Ⅰ .....	21
身体障害作業療法学Ⅱ .....	23
精神障害作業療法学Ⅰ .....	25
精神障害作業療法学Ⅱ .....	26
発達障害作業療法学Ⅰ .....	27
発達障害作業療法学Ⅱ .....	28
高齢期作業療法学.....	29
終末期作業療法学.....	30
日常生活活動学Ⅰ .....	31
日常生活活動学Ⅱ .....	32
義肢装具学Ⅰ .....	34
義肢装具学Ⅱ .....	35
作業療法学総合演習 .....	36
地域作業療法学 .....	37
福祉用具支援論 .....	39
基礎評価実習 .....	40
臨床評価実習 .....	41

# 專 門 基 礎 分 野

理学療法学科

作業療法学科

【科目名】運動学Ⅱ

【教員名】奥野 剛史、松浦 康

【教員の実務経験】 有

■無(作業療法士・理学療法士免許及び経験を有する教員が、運動学に必要な内容に関する講義を行う。)

【授業方法】 ■講義 演習 実習、実験、実技

【学科・学年・期】理学療法学科、作業療法学科・2年・前期

【必／選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】人間の動作や運動に関わる人体の解剖学的構造と神経生理学的機能、生体力学的変数と臨床上的の問題との関係を習得し、理学療法・作業療法に応用できるように理解を深める。

【到達目標】学生は人体の構造や機能と身体運動との関係、特に疾病あるいは機能障害による機能的制限及び障害を学び理学療法・作業療法における臨床的応用の修得ができる。

【教科書】資料配付

【参考書等】

中村隆一ほか著：基礎運動学 第7版. 医歯薬出版, 2025.

小柳磨毅ほか編：PT・OTのための運動学テキスト. 金原出版, 2015.

【成績評価】 ■定期試験(100%) 小テスト 課題レポート その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	姿勢①	姿勢とは(防御反応と姿勢戦略)	松浦 康
2	姿勢②	各疾患における異常姿勢について理解する。	〃
3	基本動作①	各基本動作の戦略を理解する。	〃
4	基本動作②	各基本動作のバイオメカニクスを理解する。	〃
5	歩行①	歩行の基礎	〃
6	歩行②	歩行のバイオメカニクス①	〃
7	動作分析①	基本動作の分析①	〃
8	動作分析②	基本動作の分析②	〃
9	神経生理学①	神経生理学の基礎(脳の可塑性とシナプス変化について)	奥野 剛史
10	神経生理学②	身体運動と中枢神経機構について(脳の可塑性と運動学習概論)	〃
11	運動制御理論	脳幹部における運動制御システムについて(随意運動と反射の理解)	〃
12	運動学習①	古典的運動制御仮説による運動学習について(FeedbackとFeedforward)	〃
13	運動学習②	計算神経科学による運動学習について(関節Stiffnessの影響)	〃
14	反復効果	運動学習における臨床的応用について(反復促進療法からの考察)	〃
15	エビデンス	運動とリハビリテーションについて(Neuro-Rehabilitationを中心に)	〃

【授業時間外の学習】授業実施日に復習を行い、講義で指摘された専門用語を確認するとともに内容を自分なりにノートにまとめておくこと。予習及び復習に各1時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。講義には必ず指定された資料及びタブレットを持参すること。疑問点があれば積極的に質問をすること。

【オフィスアワー】水曜日 17時から17時30分(本館事務室前)

【科目名】一般臨床医学 I

【教員名】川浦 昭彦、武田 明日香

【教員の実務経験】■有(実務経験のある医師が理学療法士・作業療法士に必要な医療の基礎の講義を行う。)

□無

【授業方法】■講義 □演習 □実習、実験、実技

【学科・学年・期】理学療法学科、作業療法学科・2年・前期

【必／選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】理学療法学科と作業療法学科の学生が、臨床に関する基礎知識として内科系及び外科系の疾患について知り、理解できるようになることを目的とする。本講義では各専門領域の講師により教書に準じて行われる。これらを学習することは頻度の高い疾患の概念、病因、症状、診断法及び治療法について理解するために重要である。

【到達目標】

1. 医学用語を理解することができる。
2. 内科系及び外科系疾患の病因、病態生理、診断法、治療について理解することができる。

【教科書】平岡崇、椿原彰夫著：PT・OT・STのための一般臨床医学 第4版。医歯薬出版、2026。

【参考書等】臨床各科の参考書は図書室に備えてある。  
伊藤正男ほか編：医学大辞典 第2版。医学書院、2009。

【成績評価】■定期試験(100%) □小テスト □課題レポート □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	婦人科の基礎的事項	婦人科領域の解剖・生理などの基礎的事項について学習する。	武田 明日香
2	婦人科疾患	婦人科領域疾患の病態や症状、予防や治療について学習する。	〃
3	産科の基礎的事項	産科全般の基礎的事項について学習する。	〃
4	眼科疾患	解剖生理、臨床検査法、眼の症状と徴候、感染症、ブドウ膜炎など	川浦 昭彦
5	耳鼻咽喉科疾患(1)	耳の構造と生理、症状・病態生理、鼻の構造、病態生理・症状など	〃
6	耳鼻咽喉科疾患(2)	口腔・咽頭・喉頭の解剖、症状、病態生理、検査、疾患など	〃
7	泌尿器・生殖器疾患(1)	その1(解剖、生理、診断・検査法など)	〃
8	泌尿器・生殖器疾患(2)	その2(生殖器の腫瘍、男子性機能障害、副腎疾患など)	〃
9	外科総論	末梢血管障害、腫瘍、臓器移植など	〃
10	脳神経外科総論	解剖、脳の主な病態生理、補助検査法など	〃
11	〃	主な疾患：頭部外傷、脳血管障害、水頭症、脳腫瘍、感染症	〃
12	皮膚科疾患—(1)	解剖、生理、症状、病態生理、湿疹、皮膚炎	〃
13	皮膚科疾患—(2)	紫斑症、角化症、母斑など	〃
14	皮膚科疾患—(3)	紅皮症、中毒疹、薬疹など	〃
15	老年医学	高齢者ケアの基本原則、高齢者によくみられる疾患	〃

【授業時間外の学習】その日のうちに、復習をおこない、講義で指摘された専門用語を確認するとともに内容を自分なりにノートにまとめておくこと。十分な理解を得るために、予習及び復習には、各2時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。講義には必ず指定された教科書及びタブレットを持参すること。疑問点があれば積極的に質問をすること。理由のない遅刻や欠席は認めない。

【オフィスアワー】川浦：火～金曜日の16時30分から17時30分(本館事務室前)

【科目名】一般臨床医学Ⅱ

【教員名】川浦 昭彦、武田 英二、高尾 正一郎

【教員の実務経験】■有(実務経験のある医師が理学療法士・作業療法士に必要な医療の基礎の講義を行う。)

□無

【授業方法】■講義 □演習 □実習、実験、実技

【学科・学年・期】理学療法学科・作業療法学科・2年・後期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】リハビリテーションを学ぶ前に、画像の読影を含む放射線医学、薬理学、栄養学、救命救急などを学習することは臨床医学の基礎を理解することにつながる。すなわち、各疾患の画像陰影変化や病気に対する薬物、栄養療法の治療メカニズムなどを理解することを目的にする。さらに、リハビリテーション中に救命救急的処置が必要な事例に遭遇した場合、的確に対処できるようにする。学生がこのように学習することは、患者さんにおけるPT、OTの役割と位置づけを学び他のコメディカルの職種との連携を考えるために重要である。

【到達目標】臨床医学における基礎的な診断、治療の1つである画像診断学、薬理学、栄養学、救命救急医療の内容を理解することにより医療従事者にとって必要な医学の基本的概念や考え方を身につけることができる。臨床医学の基礎的な考え方や応用力を学び、さらに最新の知識も習得できる。

【教科書】

平岡崇，椿原彰夫著：PT・OT・STのための一般臨床医学 第4版。医歯薬出版，2026。

北村諭編集：コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科学 改訂8版。中外医学社，2024。

【参考書等】黒山政一，香取祐介著：初めの一步は絵で学ぶ 薬理学 第2版。じほう，2019。

【成績評価】■定期試験(100%) □小テスト □課題レポート □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	薬理学	薬理学の基礎知識(薬の効果と毒性、薬の作用と作用点など)	川浦 昭彦
2	感染症(1)	総論(感染・感染症の成立、病原体の感染経路、感染症の臓器別分類)各論(ウイルス感染症、細菌感染症、スピロヘータ感染症、原虫症など)	〃
3	感染症/救命救急	寄生虫疾患/ 心肺蘇生法、ショック、呼吸管理、中心静脈栄養	〃
4	救命救急	輸血療法、救急処置、ICUの役割	〃
5	神経疾患(1)	総論[構造と機能、神経疾患の症状、神経疾患の検査]	〃
6	神経疾患(2)	各論(1)[脳血管障害、慢性硬膜下血腫など]	〃
7	神経疾患(3)	各論(2)[髄膜炎、脳腫瘍など]	〃
8	神経疾患(4)	各論(3)[多発性硬化症、Bell麻痺など]	〃
9	栄養学	食事(献立)とは、糖質・脂質・たんぱく質について	武田 英二
10	〃	ビタミン・ミネラルについて、健康と運動に必要なエネルギー	〃
11	〃	経腸栄養、静脈栄養	〃
12	〃	食物繊維、食生活と健康、偏食・孤食・欠食、胎児の栄養	〃
13	画像診断学	頭部画像診断における検査法、画像解剖および代表的疾患の画像所見	高尾 正一郎
14	〃	胸部画像診断における検査法、画像解剖および代表的疾患の画像所見	〃
15	〃	腹部画像診断における検査法、画像解剖および代表的疾患の画像所見、その他	〃

【授業時間外の学習】その日のうちに、復習をおこない、講義で指摘された専門用語を確認するとともに内容を自分なりにノートにまとめておくこと。十分な理解を得るために、予習及び復習には、各2

時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢（私語や受講態度）については厳しく指導する。講義には必ず指定された教科書及びタブレットを持参すること。疑問点があれば積極的に質問をすること。理由のない遅刻や欠席は認めない。

【オフィスアワー】

川浦：火～金曜日の16時30分から17時30分(本館事務室前)

武田：月～木曜日の16時30分から17時30分(校長室)

【科目名】内科学 I

【教員名】川浦 昭彦

【教員の実務経験】 有(実務経験のある医師が理学療法士・作業療法士に必要な医療の基礎の講義を行う。)

無

【授業方法】 講義 演習 実習、実験、実技

【学科・学年・期】理学療法学科、作業療法学科・2年・前期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】内科的疾患を学ぶ前に、総論では各臓器の解剖生理学的なポイントを理解する。各論では病気がどのようなメカニズムから生じたのか、さらにそれらの疾患の身体機能や生命の予後はどのような経過を辿るのかを理解する。学生がこのような目的をもって学習することは、患者さんにおけるPT, OTの役割と位置づけを学び、他のコメディカルの職種との連携を考えるために重要である。

【到達目標】内科学の基礎的な考え方や応用力を学び、さらに最新の知識も習得できる。

【教科書】北村諭編集:コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科学 改訂8版. 中外医学社, 2024.

【参考書等】なし

【成績評価】 定期試験(100%) 小テスト 課題レポート その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	内科概論	総論[内科学と、その進歩、老化、加齢、疾病など]	川浦 昭彦
2	呼吸器疾患(1)	総論[構造と機能、主要症状など]	〃
3	呼吸器疾患(2)	各論(1)[感染性呼吸器疾患など]	〃
4	呼吸器疾患(3)	各論(2)[気道性閉塞疾患など]	〃
5	呼吸器疾患(4)	各論(3)[腫瘍性肺疾患、胸膜の疾患、アレルギー性肺疾患など]	〃
6	消化器疾患(1)	総論[構造と機能、主要症状、消化器疾患の検査など]	〃
7	消化器疾患(2)	各論(1)[食道疾患、胃・十二指腸疾患など]	〃
8	消化器疾患(3)	各論(2)[小腸・大腸疾患など]	〃
9	肝胆膵疾患(1)	総論[肝臓・胆嚢・膵臓の構造と機能など]	〃
10	肝胆膵疾患(2)	総論/各論(1)[急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝腫瘍など]	〃
11	肝胆膵疾患(3)	各論(2)[慢性膵炎、膵腫瘍、腹膜炎など]	〃
12	循環器疾患(1)	総論 [構造と機能、大循環、小循環など]	〃
13	循環器疾患(2)	各論(1)[心不全、高血圧、虚血性心疾患、不整脈など]	〃
14	循環器疾患(3)	各論(2)[心弁膜疾患、先天性疾患など]	〃
15	循環器疾患(4)	各論(3)[心筋、心膜、大動脈疾患など]	〃

【授業時間外の学習】その日のうちに、復習をおこない、講義で指摘された専門用語を確認するとともに内容を自分なりにノートにまとめておくこと。十分な理解を得るために、予習及び復習には、各2時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。講義には必ず指定された教科書及びタブレットを持参すること。疑問点があれば積極的に質問をすること。理由のない遅刻や欠席は認めない。

【オフィスアワー】火～金曜日 16時30分から 17時30分(本館事務室前)

【科目名】内科学Ⅱ

【教員名】川浦 昭彦

【教員の実務経験】■有(実務経験のある医師が理学療法士・作業療法士に必要な医療の基礎の講義を行う。)

□無

【授業方法】■講義 □演習 □実習、実験、実技

【学科・学年・期】理学療法学科、作業療法学科・2年・後期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】内科的疾患を学ぶ前に、総論では各臓器の解剖生理学的なポイントを理解する。各論では病気がどのようなメカニズムから生じたのか、さらにそれらの疾患の身体機能や生命の予後はどのような経過を辿るのかを理解する。学生がこのような目的をもって学習することは、患者さんにおける PT, OT の役割と位置づけを学び他のコメディカルの職種との連携を考えるために重要である。

【到達目標】広い範囲の医学の領域のなかで内科学は最も代表的な分野である。それを理解することにより医療従事者にとって必要な医学の基本的概念や考え方を身につけることができる。また、医学は日々進歩しており、内科学も同様である。本講義では学生が内科学の基礎的な考え方や応用力を学び、さらに最新の知識も習得できることを到達目標とする。

【教科書】北村諭編集:コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科学 改訂8版. 中外医学社, 2024.

【参考書等】なし

【成績評価】■定期試験(100%) □小テスト □課題レポート □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	代謝疾患(1)	総論[糖質、蛋白質、脂質の代謝、ビタミン、電解質など]	川浦 昭彦
2	代謝疾患(2)	各論[肥満症、やせ、糖尿病、脂質異常症、痛風、骨粗鬆症]	〃
3	内分泌疾患(1)	総論[内分泌腺の種類・作用機序、視床下部、下垂体など]	〃
4	内分泌疾患(2)	各論(1)[間脳疾患、下垂体疾患、甲状腺疾患]	〃
5	内分泌疾患(3)	各論(2)[副甲状腺疾患、副腎疾患]	〃
6	腎泌尿器疾患(1)	総論[構造と機能、主要症状、腎疾患の検査]	〃
7	腎泌尿器疾患(2)	各論(1)[慢性腎臓病、腎不全など]	〃
8	腎泌尿器疾患(3)	各論(2)[ネフローゼ症候群、急性腎炎症候群など]	〃
9	腎泌尿器疾患(4)	各論(3)[尿路感染症、尿路結石症、その他腎疾患など]	〃
10	膠原病アレルギー・免疫不全(1)	総論[膠原病とは、膠原病の種類、症状など]	〃
11	膠原病アレルギー・免疫不全(2)	各論[関節リウマチ、全身性エリテマトーデスなど]	〃
12	血液造血器疾患(1)	総論[血液の組成など]、各論(1)[赤血球系の疾患]	〃
13	血液造血器疾患(2)	各論(2)[赤血球系の疾患の続き、白血球系の疾患など]	〃
14	血液造血器疾患(3)	各論(3)[リンパ網内系疾患、異常蛋白血症]	〃
15	血液造血器疾患(4)	各論(4)[出血性疾患]	〃

【授業時間外の学習】その日のうちに、復習をおこない、講義で指摘された専門用語を確認するとともに内容を自分なりにノートにまとめておくこと。十分な理解を得るために、予習及び復習には、各2時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。講義には必ず指定された教科書及びタブレットを持参すること。疑問点があれば積極的に質問をすること。理由のない遅刻や欠席は認めない。

【オフィスアワー】火～金曜日 16時30分から17時30分(本館事務室前)

【科目名】神経内科学

【教員名】奥野 剛史

【教員の実務経験】 有

無(作業療法士免許及び経験を有する教員が、神経系疾患の基礎について教授する。)

【授業方法】 講義 演習 実習、実験、実技

【学科・学年・期】理学療法学科、作業療法学科・2年・前期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】神経内科学の学習を通して、神経疾患の原因と病態生理を理解するとともに、診断と治療等を知り、リハビリテーション(PT、OT)の役割について学ぶことを目的とする。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

学生は、神経疾患の症候と病態生理を理解できる。

学生は、主な神経疾患の診断と治療を理解できる。

学生は、リハビリテーションとの関連事項を理解する。

【教科書】

資料配付および配信

川平和美編集：標準理学療法学・作業療法学 神経内科学 第6版. 医学書院, 2024.

【参考書等】医療情報科学研究所編集:病気が見える vol. 7 脳・神経 第2版. メディックメディア, 2017.

【成績評価】 定期試験(100%) 小テスト 課題レポート その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	脳神経内科の基礎	中枢神経系の解剖と機能について教授する。	奥野 剛史
2	神経症候学	中枢神経系疾患の障害について教授する。	〃
3	高次脳機能障害①	失語症の病理・病態について教授する。	〃
4	高次脳機能障害②	失認の病理・病態について教授する。	〃
5	高次脳機能障害③	失行の病理・病態について教授する。	〃
6	高次脳機能障害④	記憶障害の病理・病態について教授する。	〃
7	高次脳機能障害⑤	注意障害の病理・病態について教授する。	〃
8	高次脳機能障害⑥	遂行機能障害の病理・病態について教授する。	〃
9	神経疾患各論①	脊髄疾患の病理・病態について教授する。	〃
10	神経疾患各論②	変性疾患と脱髄疾患(脊髄小脳変性症と多発性硬化症など)の病理・病態について教授する。	〃
11	神経疾患各論③	錐体外路の変性疾患(パーキンソン病など)の病理・病態について教授する。	〃
12	神経疾患各論④	末梢神経障害の病理・病態について教授する。	〃
13	神経疾患各論⑤	てんかんの病理・病態について教授する。	〃
14	神経疾患各論⑥	神経筋疾患の病理・病態について教授する。	〃
15	まとめ	脳神経内科領域の治療とリハビリテーションの役割について教授する。	〃

【授業時間外の学習】その日のうちに復習を行い、講義で指摘された専門用語を確認するとともに、タブレットに配信された授業資料を基に、その内容を自分なりにノートにまとめておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各2時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。講義には必ず指定された教科書およびタブレットを持参すること。また、疑問点があれば積極的に質問をすること。なお、タブレットを必ず持参しなければ受講できない。

【オフィスアワー】毎月曜日 17時から 17時30分まで(本館事務室前)

【科目名】脳神経外科学

【教員名】坂東 一彦

【教員の実務経験】■有(実務経験のある医師が理学療法士・作業療法士に必要な医療の基礎の講義を行う。)

□無

【授業方法】■講義 □演習 □実習、実験、実技

【学科・学年・期】理学療法学科、作業療法学科・2年・後期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】脳神経外科の学習を通して、神経疾患の原因と病態生理を理解するとともに、診断と治療等について学ぶことを目的とする。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 神経疾患の症候と病態生理を理解できる。
2. 主な神経疾患の診断と治療を理解できる。
3. リハビリテーションとの関連事項を理解する。

【教科書】資料配付および配信

【参考書等】なし

【成績評価】■定期試験(70%) ■小テスト(30%) □課題レポート ■その他(10%:2回目の授業以降、毎回一人を指名し講義を予習したものを発表してもらうことで定期試験に5-10点を加算)

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	解剖	脳外科領域の解剖について	坂東 一彦
2	症状 1	意識障害、麻痺について	〃
3	症状 2	感覚障害、脳ヘルニアについて	〃
4	画像診断、検査	MRI、CT などの画像診断について	〃
5	脳血管障害	脳血管障害の基礎について	〃
6	脳梗塞	脳梗塞の診断、治療について	〃
7	脳内出血、動脈瘤	脳内出血、動脈瘤の診断、治療	〃
8	AVM、モヤモヤ病	特殊な脳血管障害について	〃
9	脳腫瘍	脳腫瘍の診断と治療	〃
10	脱髄、髄液循環	脱髄性疾患、水頭症、髄液減少症	〃
11	感染症	神経領域の感染症について	〃
12	頭部外傷	硬膜外血腫、硬膜下血腫、脳挫傷	〃
13	脊椎脊髄疾患 末梢神経障害	脊椎疾患、脊損について	〃
14	神経疾患 1	パーキンソン病、重症筋無力症、筋ジストロフィー、筋萎縮性側索硬化症	〃
15	神経疾患 2	認知症、てんかんなど	〃

【授業時間外の学習】その日のうちに復習を行い、講義で指摘された専門用語を確認するとともに、タブレットに配信された授業資料を基に、その内容を自分なりにノートにまとめておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各2時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。講義には必ず指定された教科書およびタブレットを持参すること。また、疑問点があれば積極的に質問をすること。なお、タブレットを必ず持参しなければ受講できない。

【科目名】精神医学 I

【教員名】川畑 浩二

【教員の実務経験】 有

無(精神科領域での経験を有する作業療法士の教員が、精神医学について講義を行う。)

【授業方法】 講義 演習 実習、実験、実技

【学科・学年・期】理学療法学科、作業療法学科・2年・前期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】精神医学の概念と患者の理解や症状に対する知識を教授する。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 精神疾患の概念や症状についての理解を深める。
2. 精神疾患の分類やそれに応じた治療について理解できる。

【教科書】上島国利ほか編：精神医学テキスト 改訂第5版. 南江堂, 2023.

【参考書等】大熊輝雄著：現代臨床精神医学 改訂第12版. 金原出版株式会社, 2013.

【成績評価】 定期試験(100%) 小テスト 課題レポート その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	精神医学序論	精神医学の概念について教授する。	川畑 浩二
2	〃	精神科患者の処遇と歴史について教授する。	〃
3	精神科医療	精神医学の基礎知識について教授する。	〃
4	精神症状	精神科患者への接し方について教授する。	〃
5	〃	精神症状の捉え方について教授する。	〃
6	器質性精神障害①	概念と認知症の概要について教授する。	〃
7	器質性精神障害②	概念と認知症の各疾患について教授する。	〃
8	てんかん①	てんかんの概念について教授する。	〃
9	てんかん②	てんかんの症状学について教授する。	〃
10	依存症①	精神作用物質の概念について教授する。	〃
11	依存症②	アルコール依存症の概念について教授する。	〃
12	神経症①	概念と疫学について教授する。	〃
13	神経症②	症状学と経過・治療について教授する。	〃
14	神経症③	症状学と各疾患について教授する。	〃
15	まとめ	症状学と経過・治療について教授する。	〃

【授業時間外の学習】事前に資料を配付・配信することがあるため、資料に目を通しておくこと。授業後はその日に復習を行い、講義で出てきた医療専門用語を確認するとともに内容について自分なりに配付資料あるいはノートに整理しておくこと。十分な理解を得るためには予習・復習に1時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義では、必ず教科書、タブレットを持参すること。疑問点があれば積極的に質問をすること。

【オフィスアワー】毎水曜日 17時から17時30分(本館事務室前)

【科目名】精神医学Ⅱ

【教員名】川畑 浩二

【教員の実務経験】有

■無(精神科領域での経験を有する作業療法士の教員が精神医学について講義を行う。) )

【授業方法】講義 演習 実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療法学科・2年・後期

【必／選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】臨床精神医学の知識をさらに深め、病気の原因、診断方法、治療について学ぶ。授業は教科書のほかプリントを用い理解を深める。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 精神疾患について理解を深める。
2. 精神疾患についての症状や治療を理解できる。

【教科書】上島国利ほか編：精神医学テキスト 改訂第5版. 南江堂, 2023.

【参考書等】大熊輝雄著：現代臨床精神医学 改訂第12版. 金原出版株式会社, 2013.

【成績評価】定期試験(100%) 小テスト 課題レポート その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	統合失調症①	統合失調症の理解 概要・疫学について教授する。	川畑 浩二
2	統合失調症②	統合失調症の理解 自我障害・薬理について教授する。	〃
3	気分障害①	気分障害の理解 概要について教授する。	〃
4	気分障害②	気分障害の理解 原因と治療について教授する。	〃
5	神経性障害①	神経性障害の理解 概要・疫学について教授する	〃
6	神経性障害②	神経性障害の理解 原因と治療について教授する。	〃
7	摂食障害	摂食障害の理解 概念について教授する。	〃
8	睡眠障害	睡眠障害の理解 概念について教授する。	〃
9	パーソナリティ障害①	パーソナリティ障害の理解 概要について教授する。	〃
10	パーソナリティ障害②	パーソナリティ障害の理解 障害像について教授する。	〃
11	発達障害①	発達障害の概念と治療について教授する。	〃
12	発達障害②	ASD・ADHD などについて教授する。	〃
13	てんかん	てんかんについて教授する。	〃
14	依存症	依存症について教授する。	〃
15	精神療法	精神疾患全般についてまとめる。	〃

【授業時間外の学習】事前に資料を配付・配信することがあるため、資料に目を通しておくこと。授業後はその日に復習を行い、講義で出てきた医療専門用語を確認するとともに内容について自分なりに配付資料あるいはノートに整理しておくこと。十分な理解を得るためには予習・復習に1時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義では、必ず教科書、タブレットを持参すること。疑問点があれば積極的に質問をすること。

【オフィスアワー】毎水曜日 17時から17時30分(本館事務室前)

【科目名】整形外科学 I

【教員名】北田 功

【教員の実務経験】 有

■無(理学療法士免許及び経験を有する教員が、リハビリテーションに必要な整形外科領域に関する講義を行う。)

【授業方法】 ■講義 演習 実習、実験、実技

【学科・学年・期】理学療法学科、作業療法学科・2年・前期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】整形外科領域では運動器に障害を呈する疾患を取り扱う。したがって運動器の基本構造、機能の理解が疾患を理解するために必要となる。様々な疾患を機能解剖学とともに学ぶことにより、整形外科領域におけるリハビリテーションの理解を深める。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 整形外科学について対象や治療、基本的な療法(保存・手術)について説明することができる。
2. 整形外科疾患について説明することができる。
3. 整形外科疾患の理解に必要な機能解剖を説明できる。
4. 整形外科疾患の診断・評価を説明することができる。

【教科書】中村利孝, 松野丈夫監修: 標準整形外科学 第15版. 医学書院, 2023.

【参考書等】

岩本幸英編: 神中整形外科学 上巻・下巻 改訂23版. 南山堂, 2013.

医療情報科学研究所編集: 病気がみえる vol.11 運動器・整形外科. メディックメディア, 2017.

【成績評価】 ■定期試験(100%) 小テスト 課題レポート その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	整形外科学について	学問としての整形外科学の理解と診断学の理解	北田 功
2	〃	整形外科学的診断学の理解	〃
3	〃	整形外科学的治療法(インフォームド・コンセント、保存療法)の理解	〃
4	〃	整形外科学的治療法(手術療法)について	〃
5	整形外科の代表疾患について	慢性関節疾患について、関節の構造と機能の再学習、及び各種疾患との関連性の理解	〃
6	〃	リウマチとその類縁疾患の理解	〃
7	〃	軟部組織損傷の理解	〃
8	骨傷害の整形外科について	骨・関節の損傷総論について構造・機能の再学習。骨折、脱臼、捻挫の理解	〃
9	各種関節の整形外科疾患について	肩関節及び上腕について構造・機能の再学習と疾患との関係性の理解	〃
10	〃	肩関節及び上腕について各種疾患の理解	〃
11	〃	肘関節部および前腕について構造・機能を再学習。各種疾患との関連性の理解	〃
12	〃	肘関節部および前腕について各種疾患の理解	〃
13	〃	手関節部と手指について構造・機能について再学習。各種疾患を知り、変形と拘縮の理解	〃
14	整形外科の代表疾患について	骨壊死及び骨端症、四肢循環障害の症状、リスク管理、病理病態を理解	〃
15	〃	スポーツ整形外科でのリハビリテーションの役割を理解	〃

【授業時間外の学習】事前に資料を配付・配信することがあるため、資料に目を通しておくこと。授業

後はその日に復習を行い、講義で出てきた医療専門用語を確認するとともに内容について自分なりに配付資料あるいはノートに整理しておくこと。十分な理解を得るためには予習・復習に1時間程度を要する。

**【履修条件・注意事項】** 講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢（私語や受講態度）については厳しく指導する。講義では、必ず教科書、タブレットを持参すること。疑問点があれば積極的に質問をすること。

**【オフィスアワー】** 毎木曜日 17時から17時30分(本館事務室前)

【科目名】整形外科学Ⅱ

【教員名】北田 功

【教員の実務経験】有

■無(理学療法士免許及び経験を有する教員が、リハビリテーションに必要な整形外科領域に関する講義を行う。)

【授業方法】■講義 演習 実習、実験、実技

【学科・学年・期】理学療法学科、作業療法学科・2年・後期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】整形外科領域では運動器に障害を呈する疾患を取り扱う。したがって運動器の基本構造、機能の理解が疾患を理解するために必要となる。様々な疾患を機能解剖学とともに学ぶことにより、整形外科領域におけるリハビリテーションの理解を深める。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 整形外科疾患について説明できる。
2. 整形外科疾患の理解に必要な機能解剖を説明できる。
3. 整形外科疾患の診断・評価を説明することができる。

【教科書】中村利孝, 松野丈夫監修: 標準整形外科学 第15版. 医学書院, 2023.

【参考書等】

岩本幸英編: 神中整形外科学 上巻・下巻 改訂23版. 南山堂, 2013.

医療情報科学研究所編集: 病気がみえる vol.11 運動器・整形外科. メディックメディア, 2017.

【成績評価】■定期試験(100%) 小テスト 課題レポート その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	各種関節の整形外科疾患について	脊椎・脊髄について構造・機能を再学習。各種疾患との関連性の理解	北田 功
2	〃	脊椎・脊髄の各種疾患の理解	〃
3	〃	骨盤部について構造・機能を再学習。各種疾患との関連性の理解	〃
4	〃	股関節部及び大腿について構造・機能を再学習。各種疾患との関連性の理解	〃
5	〃	股関節部の各種疾患の理解	〃
6	〃	膝関節及び下腿について構造・機能を再学習。各種疾患との関連性の理解	〃
7	〃	膝関節の各種疾患との関連性の理解	〃
8	〃	下腿の各種疾患との関連性の理解	〃
9	〃	足関節と足部構造・機能を再学習。各種疾患との関連性の理解	〃
10	〃	足関節と足部の各種疾患の理解	〃
11	〃	神経疾患・筋疾患について構造・機能を再学習。各種疾患との関連性の理解	〃
12	〃	神経疾患・筋疾患の各種疾患の理解	〃
13	〃	熱傷についての理解	〃
14	〃	小児整形外科疾患の理解	〃
15	〃	まとめ	〃

【授業時間外の学習】事前に資料を配付・配信することがあるため、資料に目を通しておくこと。授業後はその日に復習を行い、講義で出てきた医療専門用語を確認するとともに内容について自分なりに

配付資料あるいはノートに整理しておくこと。十分な理解を得るためには予習・復習に1時間程度を要する。

**【履修条件・注意事項】** 講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢（私語や受講態度）については厳しく指導する。講義では、必ず教科書、タブレットを持参すること。疑問点があれば積極的に質問をすること。

**【オフィスアワー】** 毎木曜日 17時から17時30分(本館事務室前)

【科目名】小児科学

【教員名】武田 英二

【教員の実務経験】■有(実務経験のある医師が理学療法士、作業療法士に医療的内容に関する講義を行う。)

□無

【授業方法】■講義 □演習 □実習、実験、実技

【学科・学年・期】理学療法学科、作業療法学科・2年・前期

【必／選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】小児の成長と発達の特徴、及び新生児を含む小児特有の疾患を中心に、病態、診断、治療、予防について系統的に学習する。

【到達目標】子どもの特徴と疾患を学び、さらに最新の知識も修得できる。

【教科書】香美祥二、森健治編集：最新育児小児病学 改訂第8版。南江堂，2026。

【参考書等】適宜資料配付

【成績評価】■定期試験(40%) □小テスト ■課題レポート(60%) □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	小児期の発育と発達	形態発育	武田 英二
2	〃	運動と精神機能の発達	〃
3	小児の生理	胎生期、循環機能、呼吸機能、血液、免疫	〃
4	〃	消化機能、腎機能、皮膚機能、体温、睡眠	〃
5	乳幼児の栄養	母乳栄養、人工栄養、混合栄養	〃
6	〃	離乳、幼児食、食事講堂の障害	〃
7	小児保健	小児保健、母子保健、子ども虐待、予防接種、学校保健、小児の事故	〃
8	胎児期・小児期の分類	胎児期・小児期の特徴	〃
9	先天異常	分類、先天代謝異常、染色体異常、先天奇形	〃
10	新生児疾患	新生児の定義と特徴、新生児仮死、代謝障害	〃
11	神経疾患	脳性麻痺、けいれん性疾患、発達障害	〃
12	筋・運動器疾患	重症筋無力症、筋ジストロフィー、二分脊椎症	〃
13	心身症	心身症の定義と発症の要因、不登校、子ども虐待	〃
14	感染性疾患	感染症、アレルギー疾患	〃
15	血液疾患、小児がん	貧血、出血性疾患、白血病	〃

【授業時間外の学習】講義で習った専門用語や内容を確認し、ノートにまとめる。

【履修条件・注意事項】講義には教科書、ノート、タブレットを持参する。まじめに受講し、質問などにより講義内容の理解に努める。

【オフィスアワー】火曜日、水曜日、木曜日の16時30分～18時(校長室)

專 門 分 野

作業療法学科

【科目名】作業療法評価学Ⅲ

【教員名】川畑 浩二

【教員の実務経験】■有(作業療法士として実務経験のある教員が臨床経験を活かし、精科作業療法評価に関する講義を行う。)

□無

【授業方法】■講義 □演習 □実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療法学科・2年・前期

【必／選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】作業療法評価場面で用いる各種検査・測定が実施できるようになるために、各種検査・測定に関する知識・技術を習得する。また、各疾患に応じた評価が列挙できるようになるために評価計画を立案するプロセスを理解する。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 検査・測定の意義・目的について説明することができる。
2. 検査・測定を適切な方法で実施できる。
3. 疾患に応じた評価を列挙できる。

【教科書】能登真一ほか編：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版. 医学書院, 2017.

【参考書等】なし

【成績評価】■定期試験(100%) □小テスト □課題レポート □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	精神科作業療法	精神科作業療法の評価 概要について教授する。	川畑 浩二
2	評価手段①	評価項目と情報収集について教授する。	〃
3	評価手段②	情報収集について教授する。	〃
4	評価手段③	観察法の概要について教授する。	〃
5	評価手段④	観察法について教授する。	〃
6	評価手段⑤	面接法の概要について教授する。	〃
7	評価手段⑥	面接法について教授する。	〃
8	評価手段⑦	記録法の概要について教授する。	〃
9	評価手段⑧	記録法について教授する。	〃
10	疾患別の理解①	疾患別 統合失調症の評価について教授する。	〃
11	疾患別の理解②	疾患別 統合失調症の評価について教授する。	〃
12	疾患別の理解③	疾患別 気分障害の評価について教授する。	〃
13	疾患別の理解④	疾患別 気分障害の評価について教授する。	〃
14	疾患別の理解⑤	疾患別 認知症の評価について教授する。	〃
15	精神科作業療法 評価まとめ	精神科作業療法の評価のまとめ	〃

【授業時間外の学習】タブレットに配信された授業資料を基に、その内容を自分なりにノートにまとめ十分な理解を得るためには、予習及び復習を必ず実施すること。十分な理解を得るためには予習復習には1時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義および実習に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。講義には必ず配付(配信)された資料およびタブレットなどを持参すること。

【オフィスアワー】毎水曜日 17時から17時30分まで(本館事務室前)

【科目名】作業療法評価学Ⅳ

【教員名】井手 法子

【教員の実務経験】■有(作業療法士として実務経験のある教員が臨床経験を活かし、作業療法評価に関する講義や演習を行う。)

□無

【授業方法】■講義 ■演習 □実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療法学科・2年・前期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】生活能力や生命維持機能の評価、上肢機能評価を学び、日常生活上の障害に対する適切な評価の選択と実施方法やリスク管理などについて理解する。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. ADL評価について説明することができる。
2. 上肢機能評価を理解し実施できる。

【教科書】

能登真一ほか編集：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版. 医学書院, 2017.

千野直一ほか編著：脳卒中の機能評価 S I A SとF I M 基礎編. 金原出版, 2012.

【参考書等】なし

【成績評価】□定期試験 ■小テスト(25%4回) □課題レポート □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	ADL評価①	標準化された評価法の様々について教授する。	井手 法子
2	ADL評価②	標準化された評価法(BI)について教授する	〃
3	ADL評価③	標準化された評価法(BI)について教授する。	〃
4	ADL評価④	標準化された評価法(BI)について教授する	〃
5	ADL評価⑤	寝たきり度・認知症高齢者の日常生活自立度について教授する。	〃
6	上肢機能評価①	STEFの目的と検査方法について教授する。	〃
7	演習①	上肢機能検査(STEF)について演習する。	〃
8	上肢機能評価②	MFT・ARATの目的・検査方法について教授する。	〃
9	演習②	上肢機能検査(MFT・ARAT)について演習する。	〃
10	FIM①	FIMの特徴と概要について教授する。	〃
11	FIM②	食事・整容・清拭について教授する。	〃
12	FIM③	更衣・トイレ動作・排泄管理について教授する。	〃
13	FIM④	移乗・移動について教授する。	〃
14	FIM⑤	コミュニケーション・社会的認知について教授する。	〃
15	FIM⑧	コミュニケーション・社会的認知について演習する。	〃

【授業時間外の学習】その日のうちに復習を行い、講義で指摘された専門用語や配付資料を確認するとともに、その内容を自分なりに自己学習用ノートにまとめておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各2時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。講義には必ず指定された資料およびタブレットなどを持参すること。また、疑問点があれば積極的に質問をすること。

【オフィスアワー】毎金曜日 17時から17時30分まで(本館事務室前)

【科目名】作業療法評価学演習Ⅱ

【教員名】井手 法子、高田 弓

【教員の実務経験】■有(作業療法士として実務経験のある教員がその経験を活かし、臨床における作業療法評価の演習を行う。)

□無

【授業方法】■講義 ■演習 □実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療法学科・2年・前期

【必／選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】リハビリテーション医療の中での作業療法評価の目的と流れを理解し、的確に行うことができる。また、傷病を理解し疾患特性と生活機能障害を結びつけることができる。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 医療的接遇を実践しながら各評価を実施することができる。
2. 評価結果の意味を説明できる。
3. 収集した情報から全体像を把握し、ゴール設定へと結びつけることができる。
4. 傷病による生活機能障害から生活様式の工夫や環境整備について説明できる。

【教科書】

能登真一ほか編集：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版. 医学書院, 2017.

東京商工会議所編：福祉住環境コーディネーター検定試験 2級 公式テキスト 改訂7版.

【参考書等】なし

【成績評価】■定期試験(60%) ■小テスト(高田：40%) □課題 □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	片麻痺機能検査	片麻痺機能検査について教授する。	高田 弓
2	演習①	Brunnstrom Stage (上肢・手指) の演習をする。	〃
3	演習②	Brunnstrom Stage (下肢) の演習をする。	〃
4	演習③	Fugl-Meyer Assessment (上肢・手指) の演習をする	〃
5	演習④	Fugl-Meyer Assessment (下肢) の演習をする。	〃
6	演習⑤	事例演習・片麻痺機能検査のまとめ	〃
7	生活と傷病①	高齢者・障害者の生活機能について教授する。	井手 法子
8	生活と傷病②	脳血管障害とリハビリテーションについて教授する。	〃
9	生活と傷病③	脊髄損傷とリハビリテーションについて教授する。	〃
10	生活と傷病④	骨折とリハビリテーションについて教授する。	〃
11	生活と傷病⑤	切断とリハビリテーションについて教授する。	〃
12	生活と傷病⑥	神経難病とリハビリテーションについて教授する。	〃
13	生活と傷病⑦	内部障害とリハビリテーションについて教授する。	〃
14	生活と傷病⑧	廃用症候群とリハビリテーションについて教授する。	〃
15	まとめ	傷病と生活機能障害について教授する。	〃

【授業時間外の学習】その日のうちに復習を行い、講義で指摘された専門用語を確認するとともに、教科書やタブレットに配信された授業資料を基に、その内容を自分なりにノートにまとめておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各2時間程度を要する。

**【履修条件・注意事項】** 講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢（私語や受講態度）については厳しく指導する。講義には必ず指定された教科書およびタブレット、実技時には運動着や白衣などを持参すること。また、疑問点があれば積極的に質問をすること。なお、タブレットを必ず持参しなければ受講できない。

**【オフィスアワー】** 井手・高田：毎金曜日 17 時から 17 時 30 分まで(本館事務室前)

【科目名】基礎作業療法治療学

【教員名】奥野 剛史、田村 恭佑

【教員の実務経験】■有(作業療法士として実務経験のある教員が臨床経験を活かし、作業療法の基礎について講義および演習を行う。)

□無

【授業方法】■講義 □演習 ■実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療法学科・2年・前期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】作業療法士が実施する機能的作業療法や徒手的特殊手技、実践を通じての概要や治療効果について教授する。運動学・解剖学・生理学の統合を行い、作業療法の効果について理解できることを目的とする。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 身体運動のメカニズムの理解と各疾患に対する機能的作業療法の適応について説明できる。
2. 基本的な機能的作業療法について考察し、ある程度実施することができる。

【教科書】資料配付および配信

【参考書等】なし

【成績評価】■定期試験(90%) □小テスト ■課題レポート(10%：田村) □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	川平法	川平法の根拠と効果の基礎について教授する。	田村 恭佑
2	実技①	手指に対する川平法を教授する。	〃
3	動作分析①	動作分析アプローチの基礎・実際について教授する。 ①	〃
4	動作分析②	動作分析アプローチの基礎・実際について教授する。 ②	〃
5	実技②	治療を行い効果を検証する。	〃
6	ROM 訓練	関節可動域と測定と伸張法について教授する。	奥野 剛史
7	抵抗運動	筋力増強・持久力増強の基礎について教授する。	〃
8	マッサージ	クリニカルマッサージについて教授する。	〃
9	ストレッチ	関節包内運動とストレッチングについて教授する。	〃
10	実技③	関節モビライゼーションを実技で教授する。	〃
11	除痛	特殊な除痛手技の基礎を教授する。	〃
12	神経系	機能的作業療法の基礎について教授する。	〃
13	実技④	機能的作業療法を実技で教授する。	〃
14	活動分析	活動分析と環境適応の基礎と実際について教授する。	〃
15	実技⑤	活動分析アプローチを実技で教授する。	〃

【授業時間外の学習】その日のうちに復習を行い、講義で指摘された専門用語を確認するとともに、タブレットに配信された授業資料を基に、その内容を自分なりにノートにまとめておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各2時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。講義には必ず指定された教科書およびタブレット、実技時には運動着や白衣などを持参すること。また、疑問点があれば積極的に質問をすること。なお、タブレットを必ず持参しなければ受講できない。

【オフィスアワー】

奥野：毎木曜日の17時から17時30分まで(本館事務所前)

田村：毎月曜日の17時から17時30分まで(本館事務室前)

【科目名】身体障害作業療法学 I

【教員名】奥野 剛史、篠森 丞、田村 恭佑

【教員の実務経験】■有(臨床の作業療法士(篠森)や作業療法士として実務経験のある教員(奥野・田村)が、臨床における作業療法に関する講義および演習を行う。)

□無

【授業方法】■講義 □演習 ■実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療学科・2年・前期

【必/選・単位数(時間数)】必修・2単位(60時間)

【授業概要と目的】代表的な中枢神経疾患について身体障害領域の病態理解に加え、作業療法の役割やチームアプローチ、作業療法評価と治療計画の立案について教授する。また、急性期や回復期、維持期へとつながる時期別過程について事例検討を通じて、ICF分類に基づいた障害構造の理解と、リスク管理、クリニカルリーズニングや段階づけなどの臨床的思考プロセスを理解することを目的とする。

【到達目標】学生は、脳卒中および高次脳機能障害のリハビリテーションと作業療法評価と治療プロセスを説明できる。

【教科書】

長崎重信監修：作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 身体障害作業療法学 改訂第3版. メジカルビュー社, 2022.

長崎重信監修：作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 高次脳機能障害作業療法学 改訂第3版. メジカルビュー社, 2021.

【参考書等】

石合純夫著：高次脳機能障害学 第2版. 医歯薬出版, 2012.

能登真一編：標準作業療法学 専門分野 高次脳機能作業療法学. 医学書院, 2012.

山口 昇編：標準作業療法学 身体機能作業療法学 第4版 医学書院 2021.

東京商工会議所編：福祉住環境コーディネーター検定試験 2級 公式テキスト 改訂6版.

【成績評価】■定期試験(100%) □小テスト □課題レポート □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	身体障害総論	身体障害のリハビリテーションと作業療法の役割について教授する。	田村 恭佑
2	脳卒中の病態	脳卒中の病態について教授する。	〃
3	脳卒中の理解①	脳卒中の障害像の理解と評価について教授する。①	〃
4	脳卒中の理解②	脳卒中の障害像の理解と評価について教授する。②	〃
5	脳卒中の理解③	脳卒中の障害像の理解と評価について教授する。③	〃
6	急性期	脳卒中・急性期の作業療法(疾患管理と役割)	〃
7	回復期①	脳卒中・回復期の作業療法(疾患管理と役割)	〃
8	回復期②	脳卒中・回復期の作業療法(作業療法過程、住環境整備)	〃
9	治療①	脳卒中の治療と援助について教授する。①	〃
10	治療②	脳卒中の治療と援助について教授する。②	〃
11	関節リウマチ①	疾患特性・介入ポイントについて教授する。	〃
12	関節リウマチ②	日常生活指導、住環境整備について教授する。	〃
13	急性期①	急性期の作業療法(役割と他職種連携、リスク管理)	篠森 丞
14	急性期②	急性期の作業療法(整形外科・脳卒中の作業療法の実際①)	〃
15	急性期③	急性期の作業療法(整形外科・脳卒中の作業療法の実際②)	〃
16	総論①	高次脳機能障害の基本概念・病態と原因・大脳の機能局在を教授する。	〃

17	総論②	高次脳機能障害を脳血管障害との関係・評価と治療原則から教授する。	奥野 剛史
18	失語症	失語症に対する作業療法(病態・評価・介入原則)について教授する。	〃
19	失行	失行に対する作業療法(病態・評価・介入原則)について教授する。	〃
20	失認	失認に対する作業療法(病態・評価・介入原則)について教授する。	〃
21	半側空間無視①	半側空間無視に対する作業療法(病態・評価・機能訓練)について教授する。	〃
22	半側空間無視②	半側空間無視に対する作業療法(事例検討)について教授する。	〃
23	記憶障害	記憶障害に対する作業療法(病態・評価・介入原則)について教授する。	〃
24	注意障害①	注意障害に対する作業療法(病態・評価・介入原則)について教授する。	〃
25	注意障害②	注意障害に対する作業療法(事例検討)について教授する。	〃
26	遂行機能障害①	遂行機能障害に対する作業療法(病態・評価・介入原則)について教授する。	〃
27	遂行機能障害②	遂行機能障害に対する作業療法(事例検討)について教授する。	〃
28	症例検討①	実際にモデルケース(半側空間無視)を示し、作業療法士の実際について教授する。	〃
29	症例検討②	実際にモデルケース(注意障害)を示し、作業療法士の実際について教授する。	〃
30	症例検討③	実際にモデルケース(遂行機能障害)を示し、作業療法士の実際について教授する。	〃

**【授業時間外の学習】** その日のうちに復習を行い、講義で指摘された専門用語や配信された資料を確認するとともに、その内容を自分なりに自己学習ノートを作成し、まとめておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各2時間程度を要する。

**【履修条件・注意事項】** 講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。講義には必ず配付された資料およびタブレットを持参すること。また、疑問点があれば積極的に質問をすること。

**【オフィスアワー】**

奥野：毎月曜日 17時から 17時30分まで(本館事務室前)

田村：毎木曜日 17時から 17時30分まで(本館事務所前)

【科目名】身体障害作業療法学Ⅱ

【教員名】奥野 剛史、永野 達郎

【教員の実務経験】 有(臨床の作業療法士(永野)や作業療法士として実務経験のある教員(奥野)が臨床経験を活かし、臨床における作業療法に関する講義および演習を行う。)  
無

【授業方法】 講義 演習 実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療法学科・2年・後期

【必/選・単位数(時間数)】必修・2単位(60時間)

【授業概要と目的】代表的な中枢神経疾患や運動器疾患など身体障害領域の各疾患に対する病態理解に加え、作業療法の役割やチームアプローチ、作業療法評価と治療計画の立案について教授する。また、急性期や回復期、維持期へとつながる時期別過程について事例検討を通じて、ICF分類に基づいた障害構造の理解と、リスク管理、クリニカルリーズニングや段階づけなどの臨床的思考プロセスを理解することを目的とする。

【到達目標】学生は、受講する各疾患の病態病理が理解でき、病期による時期別の作業療法評価と治療プロセスが説明できる。

【教科書】

長崎重信監修：作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 身体障害作業療法学 改訂第3版. メジカルビュー社, 2022.

資料配信および配付

【参考書等】なし

【成績評価】 定期試験(100%) 小テスト 課題レポート その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	内部障害の作業療法①	呼吸器疾患の障害像と評価について教授する。	永野 達郎
2	内部障害の作業療法②	呼吸器疾患のリスク管理と介入について教授する。	〃
3	循環器疾患①	循環器疾患の障害像と評価について教授する。	奥野 剛史
4	循環器疾患②	循環器疾患のリスク管理と介入について教授する。	〃
5	癌関連疾患	癌関連疾患の評価と介入について教授する。	〃
6	糖尿病①	糖尿病の障害像と評価について教授する。	〃
7	糖尿病②	糖尿病に対するリスク管理と介入について教授する。	〃
8	骨折総論	手の機能解剖と関節運動について教授する。	〃
9	上肢解剖	手の機能解剖と関節運動について教授する。	〃
10	上肢骨折①	ハンドセラピー領域における評価について教授する。	〃
11	上肢骨折②	ハンドセラピー領域における時期別介入について教授する。	〃
12	脱臼と腱板	肩の機能解剖と関節運動学・リスク管理について教授する。	〃
13	腱板断裂	外科的治療と時期別介入について教授する。	〃
14	症候群	各絞扼性障害の基礎について教授する。	〃
15	下肢骨折	大腿骨近位部骨折に対する作業療法について教授する。	〃

16	変形性関節症①	変形性股関節症に対する作業療法について教授する。	奥野 剛史
17	変形性関節症②	変形性膝関節症に対する作業療法について教授する。	〃
18	症例検討	整形疾患に対する事例検討を行う。	〃
19	切断	切断の作業療法について教授する。	〃
20	頸髄損傷①	頸髄損傷の作業療法(病態理解と作業療法過程)について教授する。	〃
21	頸髄損傷②	頸髄損傷の作業療法(Zancolli 分類と作業療法評価)について教授する。	〃
22	頸髄損傷③	頸髄損傷の作業療法(Zancolli 分類と日常生活活動)について教授する。	〃
23	頸髄損傷④	頸髄損傷の作業療法(Zancolli 分類と到達目標と治療)について教授する。	〃
24	頸髄損傷⑤	頸椎症性脊髄症の病態と評価について教授する。	〃
25	頸髄損傷⑥	頸椎症性脊髄症の作業療法について教授する。	〃
26	神経難病①	Parkinson 病の疾患特性について教授する。	〃
27	神経難病②	Parkinson 病の作業療法について教授する。	〃
28	腱損傷	手指屈筋腱損傷の作業療法の基礎について教授する。	〃
29	末梢神経障害	末梢神経障害の作業療法の基礎について教授する。	〃
30	熱傷	熱傷の作業療法法の基礎について教授する。	〃

**【授業時間外の学習】** その日のうちに復習を行い、講義で指摘された専門用語や配信された資料を確認するとともに、その内容を自分なりに自己学習ノートを作成し、まとめておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各2時間程度を要する。

**【履修条件・注意事項】** 講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。講義には必ず配付された資料およびタブレット、実技時には運動着や白衣などを持参すること。また、疑問点があれば積極的に質問をすること。

**【オフィスアワー】** 毎月曜日 17時から17時30分まで(本館事務室前)

【科目名】精神障害作業療法学 I

【教員名】川畑 浩二

【教員の実務経験】■有(作業療法士として実務経験のある教員がその経験を活かし、臨床における精神科領域の作業療法について講義を行う。)

□無

【授業方法】■講義 □演習 □実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療学科・2年・前期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】精神障害作業療法学では、学生が精神科医療の概要と歴史について理解することを目標とする。さらに、精神症状の基本的な理解と薬理についての理解を深めるとともに、精神科作業療法の概要と理解を図ることを目的とする。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 精神科医療を理解できる。
2. 精神科医療の歴史について理解できる。
3. 精神症状について理解できる。
4. 精神薬理について理解できる。
5. 精神科作業療法の理解を図る。

【教科書】堀田英樹著：精神疾患の理解と精神科作業療法 第3版. 中央法規出版, 2020.

【参考書等】資料配付

【成績評価】■定期試験(100%) □小テスト □課題レポート □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	基礎概念①	精神科医療の概念について教授する。	川畑 浩二
2	基礎概念②	精神科医療の概要について教授する。	〃
3	基礎概念③	精神科作業療法の歴史について教授する。	〃
4	基礎概念④	精神科作業療法の関連する法律等について教授する。	〃
5	基礎知識①	精神症状の理解について教授する。(意識・知能の異常)	〃
6	基礎知識②	精神症状の理解について教授する。(思考・知覚の異常)	〃
7	基礎知識③	精神症状の理解について教授する。(感情・意欲の異常)	〃
8	基礎知識④	精神症状の理解について教授する。(行動・記憶の異常)	〃
9	基礎知識⑤	精神薬理学① 向精神病薬について教授する。	〃
10	基礎知識⑥	精神薬理学② 作用・副作用について教授する。	〃
11	治療学総論①	精神科作業療法の理解① 治療構造と治療過程について教授する。	〃
12	治療学総論②	精神科作業療法の理解② 個別と集団について教授する。	〃
13	治療学総論③	精神科作業療法の理解③ 作業療法の役割について教授する。	〃
14	治療学総論④	精神科作業療法の理解④ 作業療法の役割について教授する。	〃
15	治療学総論⑤	精神科作業療法の理解⑤ まとめ	〃

【授業時間外の学習】タブレットに授業資料を配信するので次回までに確認しておくこと。予習復習を必ずタブレットの配信資料を確認して準備しておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各2時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】タブレットを必ず持参しなければ受講することができない。受講にあたっては集中して授業に取り組めるようにすること。授業中は積極的な質問を行うこと。

【オフィスアワー】毎水曜日 17時から17時30分まで(本館事務室前)

【科目名】精神障害作業療法学Ⅱ

【教員名】川畑 浩二

【教員の実務経験】■有(作業療法士として実務経験のある教員がその経験を活かし、臨床における精神科領域の作業療法について講義を行う。)

□無

【授業方法】■講義 □演習 □実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療学科・2年・後期

【必／選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】精神障害作業療法学では、学生が、各疾患と障害像を理解できることを目的とする。さらに、各疾患の作業療法の目的と課題、援助過程、各過程に応じた作業療法の実践について理解することを目的とする。

【到達目標】学生は、以下のことを修得する。

1. 各疾患に応じた特性が理解できる。
2. 各疾患の評価尺度について理解できる。
3. 各疾患の作業療法について理解できる。

【教科書】堀田英樹著：精神疾患の理解と精神科作業療法 第3版。中央法規出版，2020。

【参考書等】資料配付

【成績評価】■定期試験(100%) □小テスト □課題レポート □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	統合失調症①	統合失調症の概念と症状について教授する。	川畑 浩二
2	統合失調症②	統合失調症の分類と評価尺度について教授する。	〃
3	統合失調症③	統合失調症の作業療法について教授する。	〃
4	気分障害①	気分障害の概念と症状について教授する。	〃
5	気分障害②	気分障害の疫学について教授する。	〃
6	気分障害③	気分障害の作業療法について教授する。	〃
7	神経症性障害①	神経症性障害の概念について教授する。	〃
8	神経症性障害②	神経症性障害の症状と特徴について教授する。	〃
9	神経症性障害③	神経症性障害の作業療法について教授する。	〃
10	パーソナリティ障害	それぞれのパーソナリティ障害について教授する。	〃
11	パーソナリティ障害	パーソナリティ障害の作業療法について教授する。	〃
12	依存症	依存症の理解と作業療法について教授する。	〃
13	てんかん	てんかんの理解と作業療法について教授する。	〃
14	摂食障害	摂食障害の理解と作業療法について教授する。	〃
15	発達障害	発達障害の理解と作業療法について教授する。	〃

【授業時間外の学習】タブレットに授業資料を配信するので次回までに確認しておくこと。予習復習を必ずタブレットの配信資料を確認して実施しておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各2時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】タブレットを必ず持参しなければ受講することができない。受講にあたっては集中して授業に取り組めるようにすること。積極的な質問を行うこと。

【オフィスアワー】毎水曜日 17時から17時30分まで(本館事務室前)

【科目名】発達障害作業療法学Ⅰ

【教員名】松本 祐輝、井手 法子

【教員の実務経験】 ■有(臨床の作業療法士(松本)及び経験を有する教員(井手)がその経験を活かし、発達障害に対する評価や介入についての講義および演習を行う。)  
□無

【授業方法】 ■講義 □演習 ■実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療法学科・2年・前期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】

1. 発達障害児に関わる者としての基礎知識が学修できることを目的とする。
2. 特に発達と麻痺の内容を重点的に学修できることを目的とする。

【到達目標】学生が、正常発達における原始反射、異常反射など、基礎知識を深め検査方法などの技術を習得でき、一部を対象者に実施できる。

【教科書】

神作一実編：作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 発達障害作業療法学 第3版. メジカルビュー社, 2021.

辛島千恵子編著：イラストでわかる発達障害の作業療法. 医歯薬出版, 2016.

【参考書等】資料配付

【成績評価】 ■定期試験(80%) ■小テスト(20%) □課題レポート □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	発達障害と親子関係	発達障害に関する定義とリハビリテーション、親子が障害を受容する過程について教授する。	松本 祐輝
2	正常発達①	粗大運動発達と異常パターンの発達の基礎を教授する。	〃
3	正常発達②	粗大運動発達と異常パターンの発達の応用を教授する。	〃
4	正常発達③	正常発達と姿勢反射の基礎について教授する。	〃
5	正常発達④	微細運動発達と手先の発達について教授する。	〃
6	正常発達⑤	言語発達と感覚統合の基礎について教授する。	〃
7	正常発達⑥	心理・精神・社会性の正常発達について教授する。	〃
8	発達障害評価①	発達障害領域における各種の評価の特徴を教授する。	井手 法子
9	発達障害評価②	発達障害領域における各種の評価の特徴を教授する。	〃
10	発達障害評価③	発達検査の基礎について教授する。	〃
11	発達障害評価④	知的・視知覚・ADL 検査について教授する。	〃
12	脳性麻痺①	脳性麻痺の概論について教授する。	〃
13	脳性麻痺②	痙直型の特徴とアプローチについて教授する。	〃
14	脳性麻痺③	アトローゼ型の特徴とアプローチについて教授する。	〃
15	脳性麻痺④	まとめ	〃

【授業時間外の学習】その日のうちに復習を行い、講義で指摘された専門用語や配付された資料を確認するとともに、その内容を自分なりに自己学習ノートにまとめておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各1時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。講義には必ず指定された教科書およびタブレットなどを持参すること。また、実技の際には動きやすい服装で参加し、疑問点があれば積極的に質問をすること。

【オフィスアワー】井手：毎金曜日 17時から17時30分まで(本館事務室前)

【科目名】発達障害作業療法学Ⅱ

【教員名】松本 祐輝、井手 法子

【教員の実務経験】 ■有(臨床の作業療法士(松本)及び経験を有する教員(井手)がその経験を活かし、発達障害に対する評価や介入についての講義および演習を行う。)

□無

【授業方法】 ■講義 □演習 ■実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療法学科・2年・後期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】

1. 代表的疾患についての基礎知識を学修することを目的とする。
2. 評価と治療について学修する。

【到達目標】学生は、小児の疾患の特徴と評価、治療についての専門的知識を習得でき、その一部を対象者に実施できる。

【教科書】

神作一実編：作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 発達障害作業療法学 第3版. メジカルビュー社, 2021.

辛島千恵子編著：イラストでわかる発達障害の作業療法. 医歯薬出版, 2016.

【参考書等】資料配付

【成績評価】 ■定期試験(80%) ■小テスト(10%) ■課題レポート(10%) □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	感覚統合①	感覚統合の基礎について教授する。	松本 祐輝
2	感覚統合②	感覚統合アプローチについて教授する。	〃
3	自閉	自閉症スペクトラム症の特徴とアプローチについて教授する。	〃
4	アスペルガー	アスペルガーの特徴とアプローチについて教授する。	〃
5	ADHD	ADHDの特徴とアプローチについて教授する。	〃
6	学習障害	学習障害の特徴とアプローチについて教授する。	〃
7	社会	特別支援学校と保育所等の訪問指導について教授する。	〃
8	知的障害①	知的障害の特徴と分析の基礎について教授する。	井手 法子
9	知的障害②	知的障害の特徴とアプローチについて教授する。	〃
10	筋ジス①	筋ジストロフィー症の特徴について教授する。	〃
11	筋ジス①	筋ジストロフィー症のアプローチについて教授する。	〃
12	二分脊椎	二分脊椎症の特徴とアプローチについて教授する。	〃
13	分娩麻痺	分娩麻痺の特徴とアプローチについて教授する。	〃
14	実技	こどもの事故と対策について実技する。	〃
15	就労	発達障害領域における就労の基礎について教授する。	〃

【授業時間外の学習】その日のうちに復習を行い、講義で指摘された専門用語や配付された資料を確認するとともに、その内容を自分なりに自己学習ノートにまとめておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各1時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。講義には必ず指定された教科書およびタブレットなどを持参すること。また、実技の際には動きやすい服装で参加し、疑問点があれば積極的に質問をすること。

【オフィスアワー】井手：毎金曜日 17時から 17時30分まで(本館事務室前)

【科目名】高齢期作業療法学

【教員名】河野 裕美子

【教員の実務経験】有(作業療法士として実務経験のある教員が、高齢期の作業療法に関して講義・演習を行う。)

無

【授業方法】講義 演習 実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療法学科・2年・前期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】高齢者の身体・精神心理面、社会背景を含め、認知症の特徴や病態についても演習を交え、理解する。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 高齢期障害に対する作業療法の役割を理解する。
2. 高齢期障害に対する必要な支援を実施するための評価や治療に関する知識を説明できる。

【教科書】配付・配信資料

【参考書等】

松房利憲, 新井健五編集: 標準作業療法学 高齢期作業療法学 第4版. 医学書院, 2023.

東京商工会議所編: 福祉住環境コーディネーター検定試験 2級 公式テキスト 改訂6版.

【成績評価】定期試験 小テスト(60%) 課題レポート(40%) その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	高齢社会①	高齢社会・高齢期における課題について教授する。	河野 裕美子
2	高齢社会②	高齢期障害の身体的・精神的特性について教授する。	〃
3	福祉用具	生活行為別にみた福祉用具の活用について	〃
4	実習①	生活行為別にみた福祉用具の活用についてバリアフリー展を通して学ぶ。①	〃
5	実習②	生活行為別にみた福祉用具の活用についてバリアフリー展を通して学ぶ。②	〃
6	演習①	実習で学んだ内容についてまとめ、発表する。	〃
7	認知症概論	認知症の病的変化と分類とその特徴を教授する。	〃
8	認知症評価①	認知症の各評価について教授する。	〃
9	認知症評価②	認知症のADL・IADL評価について教授する。	〃
10	演習②	認知症の評価を実践する。	〃
11	認知症支援	認知症に対する作業療法について教授する。	〃
12	認知症に対する環境整備	認知症に対する生活上の問題点と福祉住環境整備について教授する。	〃
13	高齢期の作業療法	高齢期の作業療法の目的と変遷について教授する。	〃
14	事例検討	事例検討を通し高齢期の作業療法の実践を理解する。	〃
15	演習③	VRを用いて認知症を体験する。	〃

【授業時間外の学習】事前に配付された資料を読み予習を行うこと。授業後、学んだ内容を復習する。グループワークでのディスカッションができるよう、予習復習を徹底すること。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各2時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】授業およびグループワークを用いて、ディスカッションを行い、十分な理解を図る。講義資料およびタブレットを持参し、積極的に参加すること。

【オフィスアワー】毎水曜日 17時00分から17時30分(本館事務室前)

【科目名】終末期作業療法学

【教員名】高田 弓

【教員の実務経験】■有(作業療法士として実務経験のある教員が、終末期の作業療法に関して教授する。)

□無

【授業方法】■講義 ■演習 ■実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療学科・2年・後期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】終末期リハビリテーションの定義を理解し、がんや他疾患の医学的知識、様々な問題点に対する理解を深め、評価やリスク管理とQOL改善も含めた介入方法を身に付けることを目的とする。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 終末期リハビリテーションの定義について説明できる。
2. 終末期に対する作業療法の役割を理解する。
3. 終末期に対する必要な評価や支援を実施するための知識と技術を習得する。

【教科書】配付・配信資料

【参考書等】なし

【成績評価】□定期試験 ■小テスト(60%) ■課題レポート(40%) □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	終末期①	終末期リハビリテーションの定義について教授する。	高田 弓
2	終末期②	がん患者におけるリスク管理について教授する。	〃
3	終末期③	がん患者における評価について教授する。	〃
4	終末期④	がん患者に対する緩和ケア・リハビリテーションについて教授する。	〃
5	終末期⑤	がん患者に対する緩和ケアにおける連携やグリーフケアについて教授する。	〃
6	褥瘡①	褥瘡の発生要因と好発部位、危険因子評価について教授する。	〃
7	褥瘡②	褥瘡に対する評価と介入方法について教授する。	〃
8	筋ジストロフィー①	筋ジストロフィーに対する緩和ケア・リハビリテーションについて教授する	〃
9	筋ジストロフィー②	筋ジストロフィーに対する緩和ケア・リハビリテーションについて教授する	〃
10	脊髄小脳変性症	脊髄小脳変性症に対する緩和ケア・リハビリテーションについて教授する。	〃
11	演習①	終末期の作業活動の提供について教授する。	〃
12	実技①	作品が持つ意味について演習する。	〃
13	呼吸リハ	終末期における呼吸リハビリテーションについて教授する。	〃
14	実技②	喀痰吸引についての基礎知識について教授する。	〃
15	実技③	喀痰吸引を実践し理解する。	〃

【授業時間外の学習】事前に配付された資料を読み予習を行うこと。授業後、学んだ内容を復習し予習復習を徹底すること。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各1時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義時間内に適時振り返りを行うことで、十分な理解を図る。講義資料およびタブレットを持参し、積極的に参加すること。

【オフィスアワー】毎金曜日17時00分から17時30分(本館事務室前)

【科目名】日常生活活動学 I

【教員名】高田 弓、井手 法子

【教員の実務経験】 ■有(作業療法士として実務経験のある教員が、日常生活活動に関する講義および演習を行う。)

□無

【授業方法】 ■講義 ■演習 ■実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療法学科・2年・前期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】日常生活活動の学習を通じ、学生は、評価法、作業療法士の視点を学ぶ。

【到達目標】学生は、ADL・IADL評価の目的や評価の視点を修得し臨床で応用することができる。

【教科書】柴喜崇, 下田信明編集: PT・OTビジュアルテキスト ADL 第2版. 羊土社, 2021.

【参考書等】なし

【成績評価】□定期試験 ■小テスト(60%) □課題レポート ■その他(OSCE 40%)

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	ADL 概論	ADL・IADLとは何か、脳卒中の疾患特性とADL制限について教授する。	高田 弓
2	ADL 各論①	脳卒中のADL各論(起居動作・移乗・移動)	〃
3	演習①	ADL演習(起居・移乗・移動の軽介助)	〃
4	演習②	〃 (〃 中等度介助・全介助)	〃
5	演習③	〃 (車椅子・福祉用具の使用法)	〃
6	ADL 各論②	ADL各論(食事・整容動作について教授する。)	〃
7	ADL 各論③	〃 (更衣・排泄動作について教授する。)	〃
8	ADL 各論④	ADL各論(家事動作援助について教授する。)	〃
9	実技①	OSCE:片麻痺患者に対する各動作の治療的介入①	高田・井手
10	実技②	OSCE:片麻痺患者に対する各動作の治療的介入②	〃
11	摂食嚥下①	摂食・嚥下障害に対する基礎知識について教授する。	高田 弓
12	摂食嚥下②	摂食・嚥下障害に対する評価について教授する。	〃
13	摂食嚥下③	摂食・嚥下障害に対する対応について教授する。	〃
14	内部障害 ADL①	呼吸器疾患への疾病管理と日常生活指導について教授する。	〃
15	内部障害 ADL②	呼吸器疾患への疾病管理と日常生活指導のまとめ	〃

【授業時間外の学習】事前に教科書を読み予習を行うこと。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各2時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】授業およびグループワークを用いて、ディスカッションを行い、十分な理解を図る。講義資料およびタブレットを持参し、積極的に参加すること。演習・実習では動きやすい服装で受講すること。

【オフィスアワー】井手・高田: 毎金曜日 17時00分から17時30分(本館事務室前)

【科目名】日常生活活動学Ⅱ

【教員名】河野 裕美子、井手 法子、田村 恭佑

【教員の実務経験】■有(作業療法士として実務経験のある教員が、日常生活活動に関する講義および演習を行う。)

□無

【授業方法】■講義 ■演習 □実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療法学科・2年・後期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】日常生活活動学各論では、学生は、疾患ごとの日常生活活動の特性と適切な援助および介入方法を身につけることを目的とする。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 疾患に応じたADL・IADLの特性と基本的な援助方法を説明できる。
2. 疾患に応じた動作を評価し、必要な介入方法を立案し記載できる。
3. MTDL Pの概要について理解し、マネジメントの流れを説明できる。
4. MTDL Pの各シートの特徴と使用方法について説明できる。

【教科書】

柴喜崇, 下田信明編集: PT・OTビジュアルテキスト ADL 第2版. 羊土社, 2021.

長崎重信監修: 作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 身体障害作業療法学 改訂第3版. メジカルビュー社, 2022.

【参考書等】適宜資料配付・配信

【成績評価】■定期試験(80%) ■小テスト(20%・MTDL P) □課題レポート □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	MTDL P 概論①	生活行為向上マネジメント概論について教授する。 生活行為向上マネジメントの流れを理解する。	河野 裕美子
2	MTDL P 概論②	生活行為向上マネジメント概論について教授する。 各シートの概要と書き方について理解する。	〃
3	MTDL P 演習①	事例についてアセスメント演習シートを検討する。	〃
4	MTDL P 演習②	事例について工程分析を検討する。	〃
5	MTDL P 演習③	事例についてプラン演習シートを実践する。	〃
6	MTDL P 演習④	事例について発表する。	〃
7	頸髄損傷①	脊髄損傷(SCI)の疾患特性について教授する。	井手 法子
8	頸髄損傷②	SCIのADL制限について教授する。	〃
9	頸髄損傷③	SCIのADL介入ポイント(床上動作)について教授する。	〃
10	頸髄損傷④	SCIのADL介入ポイント(移乗動作)について教授する。	〃
11	頸髄損傷⑤	SCIのADL介入ポイント(食事・更衣)について教授する。	〃
12	心電図①	刺激伝導系や正常洞調律について教授する①	田村 恭佑
13	心電図②	刺激伝導系や正常洞調律について教授する②	〃
14	心電図③	危険な不整脈について教授する①	〃
15	心電図④	危険な不整脈について教授する②	〃

【授業時間外の学習】事前に配付された資料を読み予習を行うこと。授業後、学んだ内容を復習する。グループワークでのディスカッションができるよう、予習復習を徹底すること。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各2時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】授業およびグループワークを用いて、ディスカッションを行い、十分な理解を図る。講義資料およびタブレットを持参し、積極的に参加すること。また、MTDL P受講前にはI

CFの基本について復習しておくこと。

**【オフィスアワー】**

河野：毎水曜日 17時から 17時 30分まで(本館事務室前)

井手：毎金曜日 17時から 17時 30分まで(本館事務室前)

田村：毎金曜日 17時から 17時 30分まで(本館事務室前)

【科目名】義肢装具学 I

【教員名】高田 弓、山家 恭平

【教員の実務経験】有(作業療法士として実務経験のある教員(高田)と臨床の作業療法士(山家)が、作業療法士に必要な義肢装具に関する講義および演習を行う。)

無

【授業方法】講義 演習 実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療法学科・2年・前期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】代表的な義肢装具の種類とその構造や目的と、義手および義足の適合調整に関わる基本的なチェックポイントが理解できることを目的とする。

手外科疾患に関する基礎的な知識や、装具およびスプリントの適応について理解できることを目的とする。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 義肢装具の歴史的背景を理解できる。
2. 切断と義肢にかかわるリハビリテーションについて理解できる。
3. 義手・義足の概要とその適合調整を理解できる。
4. 手外科疾患の病態を理解
5. 手外科疾患に対する装具およびスプリントを含めた治療法を理解

【教科書】妹尾勝利ほか編：作業療法 義肢・装具学 第1版 羊土社, 2025.

【参考書等】

日本整形外科学会監修：義肢装具のチェックポイント 第8版. 医学書院, 2014.

長崎重信監修：作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 身体障害作業療法学 改訂第2版. メジカルビュー社, 2015.

【成績評価】定期試験(山家：50%) 小テスト(高田：50%) 課題レポート その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	義肢・切断総論	義肢の概念と分類、切断の概論について教授する。	高田 弓
2	義手の基礎①	義手の基礎知識について教授する。	〃
3	義手の基礎②	能動義手と筋電義手の操作・制御について教授する。	〃
4	義手の基礎③	義手の適合について教授する。	〃
5	義手の基礎④	上肢切断のリハビリテーションについて教授する。	〃
6	義足の基礎①	下肢切断と義足について教授する。	〃
7	義足の基礎②	下肢切断とリハビリテーションについて教授する。	〃
8	手・手指の構造	手および手指の関節構造について	山家 恭平
9	各論： 手指の骨折	手および手指骨折後の装具療法および後療法について教授する。	〃
10	屈筋腱の構造	手指屈筋腱の構造について教授する。	〃
11	各論： 屈筋腱損傷	手指屈筋腱損傷後のスプリント療法および後療法について教授する。	〃
12	伸筋腱の構造	手指伸筋腱損傷後のスプリント療法および後療法について教授する。	〃
13	各論： 伸筋腱損傷	手指伸筋腱損傷後のスプリント療法および後療法について教授する。	〃
14	手指切断の治療	手指切断後の治療法について教授する。	〃
15	各論： 複合組織損傷	複合組織損傷後のスプリント療法および後療法について教授する。	〃

【授業時間外の学習】その日のうちに復習を行い、講義で指摘された専門用語を確認するとともに、その内容を自分なりにノートにまとめておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各2時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)についても注意すること。講義には必ず指定された教科書およびタブレットなどを持参すること。また、疑問点があれば積極的に質問をすること。

【オフィスアワー】高田：毎金曜日 17時00分から17時30分(本館事務室前)

【科目名】義肢装具学Ⅱ

【教員名】高田 弓、山家 恭平

【教員の実務経験】■有(作業療法士として実務経験のある教員(高田)と臨床の作業療法士(山家)が、作業療法士に必要な義肢装具に関する講義および演習を行う。)

□無

【授業方法】■講義 ■演習 □実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療法学科・2年・後期

【必／選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】代表的な義肢装具の種類とその構造・目的について理解し、疾患と病期に応じた適合技術について教授する。また、スプリント製作実習を通じて基本的な製作技術と疾患別適合について理解できることを目的とする。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 義肢装具についての理解を疾患ごとの適合を理解できる。
2. 基本的なスプリント製作技術を習得でき、作成できる。

【教科書】妹尾勝利ほか編：作業療法 義肢・装具学 第1版 羊土社，2025.

【参考書等】

日本整形外科学会監修：義肢装具のチェックポイント 第8版. 医学書院，2014.

長崎重信監修：作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 身体障害作業療法学 改訂第2版. メジカルビュー社，2015.

【成績評価】■定期試験(高田：50% 山家：20%) □小テスト ■その他(山家：製作課題 30%)

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	装具総論	装具の概論について教授する。	高田 弓
2	上肢装具①	上肢装具の構造について教授する。	〃
3	上肢装具②	上肢装具の疾患・障害別装具(上肢、手指)	〃
4	下肢装具①	下肢・靴型装具の構造について教授する。	〃
5	下肢装具②	下肢・靴型装具の疾患・障害別装具(下肢)	〃
6	体幹装具①	体幹装具の構造について教授する。	〃
7	体幹装具②	体幹装具の疾患・障害別装具(体幹)	〃
8	正中神経麻痺	正中神経麻痺の病態について教授する。	山家 恭平
9	スプリント作成	母指対立固定スプリントの作成(演習)	〃
10	橈骨神経麻痺	橈骨神経麻痺の病態について教授する。	〃
11	スプリント作成	手関節背屈固定スプリントの作成(演習)	〃
12	尺骨神経麻痺	尺骨神経麻痺の病態について教授する。	〃
13	スプリント作成	虫様筋カフの作成(演習)	〃
14	動的スプリント	動的スプリントの構造を教授する。	〃
15	スプリント作成	PIP 関節伸展可動スプリントの作成(演習)	〃

【授業時間外の学習】その日のうちに復習を行い、講義で指摘された専門用語を確認するとともに、その内容を自分なりにノートにまとめておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各2時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)についても注意すること。講義には必ず指定された教科書およびタブレットなどを持参すること。また、制作物の提出期限は厳守すること。その他、疑問点があれば積極的に質問をすること。

【オフィスアワー】高田：毎金曜日 17時00分から17時30分(本館事務室前)

【科目名】作業療法学総合演習

【教員名】田村 恭佑

【教員の実務経験】■有(作業療法士として実務経験のある教員がその経験を活かし、臨床における作業療法評価の演習を行う。)

□無

【授業方法】■講義 ■演習 □実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療学科・2年・後期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】リハビリテーション医療の中での作業療法評価の目的と流れを理解し、的確に行うことが出来ることを目的とする。評価結果の意味するものについて考え、収集した情報から全体像把握、ゴール設定へと結びつける。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 医療的接遇を実践しながら高次脳機能評価・身体機能評価を実施することができる。
2. 評価結果の意味を説明できる。
3. 収集した情報から全体像を把握し、ゴール設定へと結びつけることが出来る。

【教科書】能登真一ほか編集：標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版. 医学書院, 2017.

【参考書等】

石合純夫著：高次脳機能障害学 第3版. 医歯薬出版, 2022.

千野直一編：脳卒中の機能評価 SIAS と FIM「基礎編 2019」「応用編 2020」

【成績評価】■定期試験(80%) ■小テスト(半側空間無視：20%) □課題レポート □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	半側空間無視	障害像や評価意義について教授する。	田村 恭佑
2	演習①	半側空間無視の評価演習①	〃
3	演習②	半側空間無視の評価演習②	〃
4	注意障害	障害像や評価意義について教授する。	〃
5	演習③	注意障害の評価演習①	〃
6	演習④	注意障害の評価演習②	〃
7	演習⑤	注意障害の評価演習③	〃
8	記憶障害	障害像や評価意義について教授する。	〃
9	演習⑥	記憶障害の評価演習	〃
10	遂行機能障害 社会的行動障害	障害像や評価意義について教授する。	〃
11	失行	障害像や評価意義について教授する。	〃
12	失認	障害像や評価意義について教授する。	〃
13	失語	障害像や評価意義について教授する。	〃
14	S I A S	S I A Sについて教授する。	〃
15	演習⑦	実技を通し評価の重要性について教授する。	〃

【授業時間外の学習】その日のうちに復習を行い、講義で指摘された専門用語を確認するとともに、教科書やタブレットに配信された授業資料を基に、その内容を自分なりにノートにまとめておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各2時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。講義には必ず指定された教科書およびタブレット、実技時には運動着や白衣などを持参すること。また、疑問点があれば積極的に質問をすること。なお、タブレットを必ず持参しなければ受講できない。

【オフィスアワー】毎金曜日 17時から17時30分まで(本館事務室前)

【科目名】地域作業療法学

【教員名】河野 裕美子、富本 紘之、秋山 健太、後藤 信吾

【教員の実務経験】 ■有(臨床の作業療法士(富本・秋山)と障がい者スポーツに従事する教員(後藤、徳島車椅子バスケットボールクラブメンバー)と作業療法士として実務経験を有する教員(河野)が臨床経験を活かし、地域リハビリテーションについて講義および演習を行う。)

□無

【授業方法】 ■講義 ■演習 ■実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療法学科・2年・後期

【必/選・単位数(時間数)】必修・2単位(60時間)

【授業概要と目的】地域リハビリテーションの理念をもとに、医療と介護の連携のあり方と地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割が理解できることを目的とする。

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 医療と介護の連携について説明できる。
2. 在宅生活移行支援についてのあり方や現状と課題が説明できる。
3. 各領域の地域作業療法についての概要が説明できる。

【教科書】大熊明, 根本悟子編集: 標準作業療法学 地域作業療法学 第4版. 医学書院, 2023.

【参考図書】

徳永千尋編: 作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 地域作業療法学. メジカルビュー社, 2016.

東京商工会議所編: 福祉住環境コーディネーター検定試験 2級 公式テキスト 改訂6版.

適宜資料配付及び配信

【成績評価】 ■定期試験(80%) □小テスト ■課題レポート(20%) □その他

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	地域	地域の捉え方と制度の理解について教授する。	河野 裕美子
2	地域医療活動 地域リハビリテ ーション	地域医療活動の成り立ち、地域リハビリテーションについて教授する。	〃
3	地域包括ケアシ ステム	地域包括ケアシステムについて教授する。	〃
4	介護保険	介護保険制度の概要について教授する。	〃
5	介護保険施設 通所リハ・訪問 リハ	介護老人保健施設の概要や作業療法、通所リハビリテーション・訪問リハビリテーションにおける作業用法について教授する。	〃
6	リスクマネジメ ント	地域作業療法におけるリスクマネジメントの概要について教授する。	〃
7	多職種連携①	看護学科、理学療法学科の学生と模擬事例をとおし、多職種連携を学ぶ。①	〃
8	多職種連携②	看護学科、理学療法学科の学生と模擬事例をとおし、他職種連携を学ぶ。②	〃
9	災害リハ	災害時におけるリハビリテーションの概要について教授する。	〃
10	演習①	災害リハビリテーションでの活動について検討する。	〃
11	運転支援	自動車運転支援の概要について教授する。	〃
12	演習②	高齢者の運転支援についてヘルスプロモーションを検討する。	〃
13	車椅子ユーザー	車椅子ユーザーのQOLについて教授する。	〃
14	演習③	車椅子ユーザーの旅行について検討する。	〃
15	制度・施策	社会保障制度の基礎について教授する。	富本 紘之

16	ニーズ	支援のためのニーズ把握と多職種連携について教授する。	富本 紘之
17	枠組み	地域作業療法の枠組みと評価について教授する。	〃
18	CBR	作業活動と社会参加について教授する。	〃
19	プログラム	支援プログラムとマネジメントの基礎を教授する。	〃
20	就労支援①	障害福祉サービス・障害者雇用促進法と就労支援について教授する。	〃
21	就労支援②	障害者総合支援法と作業療法について教授する。	〃
22	就労支援③	職業前評価の評価法について教授する。	〃
23	精神①	地域生活支援事業①	秋山 健太
24	精神②	地域生活支援事業②	〃
25	精神③	地域生活支援事業③	〃
26	精神③	地域生活支援事業④	〃
27	障害者スポーツ ①	障害者スポーツ推進の取り組み	〃
28	障害者スポーツ ②	障害者スポーツに関する諸施策	〃
29	実 習①	地域で臨床実践されている障害者スポーツを体験し、障害者スポーツについて理解を深める。①	後藤 信吾 河野 裕美子
30	実 習②	地域で臨床実践されている障害者スポーツを体験し、障害者スポーツについて理解を深める。②	〃

**【授業時間外の学習】** その日のうちに復習を行い、講義で指摘された専門用語を確認するとともに、タブレットに配信された授業資料を基に、その内容を自分なりにノートにまとめておくこと。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各2時間程度を要する。

**【履修条件・注意事項】** 講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢（私語や受講態度）については厳しく指導する。講義には必ず指定された教科書およびタブレットなどを持参すること。また、疑問点があれば積極的に質問をすること。なお、タブレットを必ず持参しなければ受講できないので注意すること。

**【オフィスアワー】** 河野：毎水曜日 17時から17時30分まで(本館事務室前)

【科目名】福祉用具支援論

【教員名】井手 法子、高田 弓

【教員の実務経験】 有

無(作業療法士免許及び経験を有する教員がその経験を活かし、環境機器に関する講義および演習を行う。)

【授業方法】 講義 演習 実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療法学科・2年・後期

【必/選・単位数(時間数)】必修・1単位(30時間)

【授業概要と目的】自立の支援、在宅重視の基本的な考え方のもと、実際の生活を見据えた作業療法を提供するための福祉用具の活用や住環境整備の知識、コミュニケーションや環境を整備する装置について学ぶ事を目的とする。(福祉住環境コーディネーター2級の資格取得を目指す内容を含む)

【到達目標】学生は、以下のことができるようになる。

1. 代表的な福祉用具・自助具の特徴を理解する。
2. 疾患に合わせた福祉用具の適合ポイントを説明できる。
3. 身体機能や生活様式にあった工夫やテクノロジーについて説明できる。

【教科書】

東京商工会議所編：福祉住環境コーディネーター検定試験 2級 公式テキスト 改訂7版。

【参考書等】

一般財団法人保健福祉広報協会：福祉機器選び方・使い方

【成績評価】 定期試験 課題レポート((高田 20%, 井手 80%)

または 福祉住環境コーディネーター2級取得 (秀認定とする)

【授業計画】

回数	テーマ	授業内容	教員名
1	住環境整備	住環境整備の進め方について教授する。	井手 法子
2	基礎知識①	実践に必要な基礎知識について教授する。	〃
3	基礎知識②	実践に必要な基礎知識について教授する。	〃
4	環境整備各論①	福祉住環境整備について系統的に教授する。①	〃
5	環境整備各論②	福祉住環境整備について系統的に教授する。②	〃
6	環境整備各論③	福祉住環境整備について系統的に教授する。③	〃
7	環境整備各論④	福祉住環境整備について系統的に教授する。④	〃
8	まとめ①	事例1について演習する。	〃
9	まとめ②	事例2について演習する。	〃
10	まとめ③	事例3について演習する。	〃
11	演習①	福祉用具の実践と活用について演習する。①	〃
12	演習②	福祉用具の活用と提案について演習する。②	〃
13	演習③	福祉用具の活用と提案について振り返る。③	〃
14	福祉用具①	自助具の意味と活用について教授する。	高田 弓
15	福祉用具②	自助具の実践と活用について事例検討する。	〃

【授業時間外の学習】授業で学んだ内容を自分自身の生活と照らし合わせて考えることが重要である。十分な理解を得るためには予習及び復習には、各2時間程度を要する。

【履修条件・注意事項】講義中は講義内容を理解することに注意を払う。講義に対する取り組みの姿勢(私語や受講態度)については厳しく指導する。講義には必ず配付された資料およびタブレットを持参すること。グループ学習では積極的に発言し、能動的に学習に取り組むこと。

【オフィスアワー】井手・高田：毎金曜日 17時から 17時30分まで(本館事務室前)

【科目名】基礎評価実習

【教員名】臨床実習指導者

【教員の実務経験】■有(臨床実習指導者(作業療法士)が作業療法士に必要な知識および技術について指導を行う。)

無

【授業方法】講義 演習 実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療法学科・1年後期・2年前期

【必/選・単位数(時間数)】必修・3単位(1年後期45時間・2年前期90時間)

【授業概要と目的】実習期間は、1年後期は5日間、2年前期は10日間とする。学生は、見学体験実習で学んだ内容とその後の学習で理解した知識と技術を活かし、臨床実習施設において、臨床実習指導者(作業療法士)のもとで、作業療法士より専門的な業務を見学・模倣し、将来作業療法士として対象者に接する際に必要な実践的な知識・技術・態度を身につけることを目的とする。なお、実習形態は参加型とする。

【到達目標】学生は福祉の現場(通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーション)を体験することにより、医療従事者としての規律の遵守と、その実習施設における事業体系や目的、およびリハビリテーションチームとしての役割を理解することができる。

また、見学体験実習で学んだ内容を深め、より専門的な知識と技術を理解することができる。

【教科書】実習の手引き

【参考書等】なし

【成績評価】定期試験 小テスト 課題レポート その他(実習施設評価 100%)

【授業計画】

実習名	実習期間
基礎評価実習	令和8年11月中(5日)
	令和8年6月下旬から7月上旬(10日)

【授業時間外の学習】臨床実習指導者(作業療法士)に指導および指示された内容について予習と復習を行う。

【履修条件・注意事項】実習の手引き参照

【オフィスアワー】学校(担任)への電話連絡

【科目名】臨床評価実習

【教員名】臨床実習指導者

【教員の実務経験】■有(臨床実習指導者(作業療法士)が作業療法士に必要な知識および技術について指導を行う。)

無

【授業方法】講義 演習 実習、実験、実技

【学科・学年・期】作業療法学科・2年・後期

【必/選・単位数(時間数)】必修・4単位(180時間)

【授業概要と目的】実習期間は4週間とする。臨床実習施設において、学生が臨床実習指導者(作業療法士)のもとで作業療法評価を中心に、将来作業療法士として対象者に接する際に必要な基本的知識・技術・態度を身につける。なお実習形態は臨床参加型とし、実習前後には学生の到達度を確認する学内実習も実施する。

【到達目標】学生は、作業療法士としての適性能力や習得した基礎知識の確認、それに即した作業療法評価の実施(見学・模倣)と、その結果の記録が的確にでき、さらに作業療法評価プロセスと基本的評価技術を系統的に経験し、障がい評価を理解することを目的とする。なお、可能な限り生活行為向上マネジメントを経験する。

【教科書】実習の手引き

【参考書等】なし

【成績評価】定期試験 小テスト 課題レポート

■その他(実習施設評価 80%、学内実習評価 20%)

【授業計画】

実習名	実習期間
臨床評価実習	令和8年11月中旬から12月上旬(20日)

【授業時間外の学習】臨床実習指導者(作業療法士)に指導および指示された内容について予習と復習を行う。

【履修条件・注意事項】実習の手引き参照

【オフィスアワー】学校(担任)への電話連絡